

目標：平成31年の世界文化遺産登録をめざす（平成29年度国内推薦獲得）

国内推薦獲得に向けた課題と対策

より熟度の高い推薦書原案の作成

平成29年3月までに作成

平成28年7月25日の文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会で示された課題

○推薦内容のさらなる検討

①資産の価値

・主張しようとする資産の価値をより分かりやすく、合理的な論理構成に基づくものすること

②構成資産

・①を踏まえ、必要な構成資産を合理的に説明すること

○記述のブラッシュアップ・具体化

③評価基準の適用の説明

・さまざまな観点から評価基準の適用にかかる記述をブラッシュアップすること

④資産の保存管理の説明

・墳丘上の植生の管理及び緩衝地帯の保全に関する記述をブラッシュアップすること

⑤来訪者対策

・来訪者の誘導や資産価値の伝達等を具体化すること

・上記指摘事項及び近年のイコモスの審査状況等を踏まえ、価値の説明・構成資産の考え方について合理的な説明を行い、より熟度の高い推薦書原案を作成する

・世界遺産登録後を見据えた来訪者対策の計画を作成する

<具体的な取組み(予定)>

・世界遺産・考古学・都市計画等の専門家に長年世界遺産登録に携わった2名の専門家を加え、推薦書作成検討委員会を開催し、原案を検討

・10月に海外及び国内専門家を招聘して国際専門家会議を開催し、今年度は長崎等の直近の審査に関わった海外専門家を加え、意見聴取を行う予定

・世界80か国(予定)の考古学研究者文化遺産担当者等が集まる世界考古学会議にて、世界遺産としての価値等について、意見交換を行い、推薦書原案に反映

登録に向けたさらなる情報発信・機運醸成

○知名度アップ

・世界遺産登録に向けた取組について、情報発信を行い、さらなる機運の高まりを図る

<具体的な取組み(予定)>

・応援組織との連携(堺市民の会、もずふる応援隊(羽曳野市・藤井寺市)、府民会議)

・首都圏をはじめとしたPRの展開(東京でイベント・シンポジウムの実施)

・民間事業者、議員連盟との連携

・世界考古学会議を利用した海外専門家へのPR

○理解度アップ

・百舌鳥・古市古墳群の価値・世界遺産登録の意義について、理解をより深めてもらうため、定期的に世界遺産学習の機会を提供するとともにシンポジウムを行う

<具体的な取組み(予定)>

・世界遺産学習会の開催(月1回程度)

・大阪でシンポジウムの開催



百舌鳥エリア



古市エリア

登録に向けた工程

	平成28年度			平成29年度	
	8月	9月～12月	1月～3月	4月～6月	7月
推薦書作成等	熟度の高い推薦書原案作成	国際専門家会議 推薦書作成検討委員会	推薦書作成検討委員会	推薦書(暫定版)作成	文化審議会世界文化遺産特別委員会 国内推薦獲得
情報発信・機運醸成		民間企業、議員連盟、市民応援組織等との連携			
(知名度アップ)		世界考古学会議 東京PRイベント	東京シンポジウム	大阪シンポジウム 首都圏PR	
(理解度アップ)		府民・市民への世界遺産学習の機会の提供(月1回程度)			

29年9月まで
ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(暫定版)提出

30年2月1日まで
ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(正式版)提出

30年(夏頃)
ユネスコの諮問機関(イコモス)の審査(現地調査)

31年7月頃
ユネスコ世界遺産委員会にて登録の可否が決定